

仙台向山高
茶道部



自分たちで浴衣や袴の着付けをして笑顔の部員

着付けに挑戦

9人の部員はほとんどが茶道未経験者。部長の普通科3年三士手魁良さん（仙台市立西多賀中出身）は中学ではバドミントン部だったが、親戚に茶道の面白さを聞いていたこと

もあり、高校では茶道部に入部。1年生の時は男子部員が1人で「少し寂しかったです」と話すが、今は1年生に男子が2人いる。

校舎3階にある和室で火・木・金曜の放課後に活動。木曜は裏千家の北村宗津先生に指導してもらっている。

取材日は、毎年恒例

の「浴衣着付け講習会」を行った。文化祭では和装でお点前をするため、女子は浴衣、男子は袴の着付けを外部講師に教わった。顧問の早坂晴子先生は「帯の結び方まで習得できまず。花火大会などに遊びに行く際、講習会で学んだ着付けを実践している女子部員も多いようです」と話す。

地域とも交流

茶道部は代々「気配り、気働き」の精神を大切に活動し、行事にも積極的に取り組んでいる。5月の「歓迎茶会」では新任の先生に

お点前通じ奉仕の心磨く



外部講師を招いた浴衣着付け講習会

抹茶を振る舞い、秋の文化祭「向陵祭」では

お茶会を実施。12月に行われる「送別茶会」

は3年生部員を送る恒
例行事だ。



お茶会体験では小学生に日本の伝統文化の魅力を紹介

学外の人と交流できる機会もある。6月に仙台市向山児童館に「お茶会体験」を開き、小学1、2年生に抹茶と菓子を振る舞い茶道の魅力を伝えている。三土さんは「小学生に抹茶を受け入れてもらえるか不安でしたが、『おいしい』と飲んでくれました。子どもが興味を持ってくれそうなお茶菓子を選び、喜んでもらえまし

た」と笑顔を见せる。10月には裏千家が主催する「児童・生徒・学生茶会」に代表部員が参加。日頃の稽古の成果を披露する貴重な機会になっている。

2024年秋には初めて、町内会のサロン活動に参加。高齢者が作陶した器で、部員たちが点てた抹茶を楽しんでもらった。三土さんは「地域の人とつながりを持ち、茶道で大切に行っている奉仕の心を磨くことができた」と振り返る。

早坂先生は「おいしい抹茶と和菓子を味わいながら和の文化に触れられます。学外の方と連携できる機会もあり、興味を広げることができます」と語る。

仙台向山高
 (普通科、理数科)

太白区八木山緑町1-1
Tel.022-262-4130

仙台向山高
検索

仙台向山高
検索